

分別した資源ごみ こうやってリサイクルされています!!

ペットボトル編

ペットボトルのペットとは、原料となる「Poly Ethylene Terephthalate」という樹脂の頭文字をとった言葉です。

前回のプラスチックごみにも同じことがいえますが、石油から作られるため、原油価格の高騰や資源の枯渇といった課題に大きく影響を受けます。

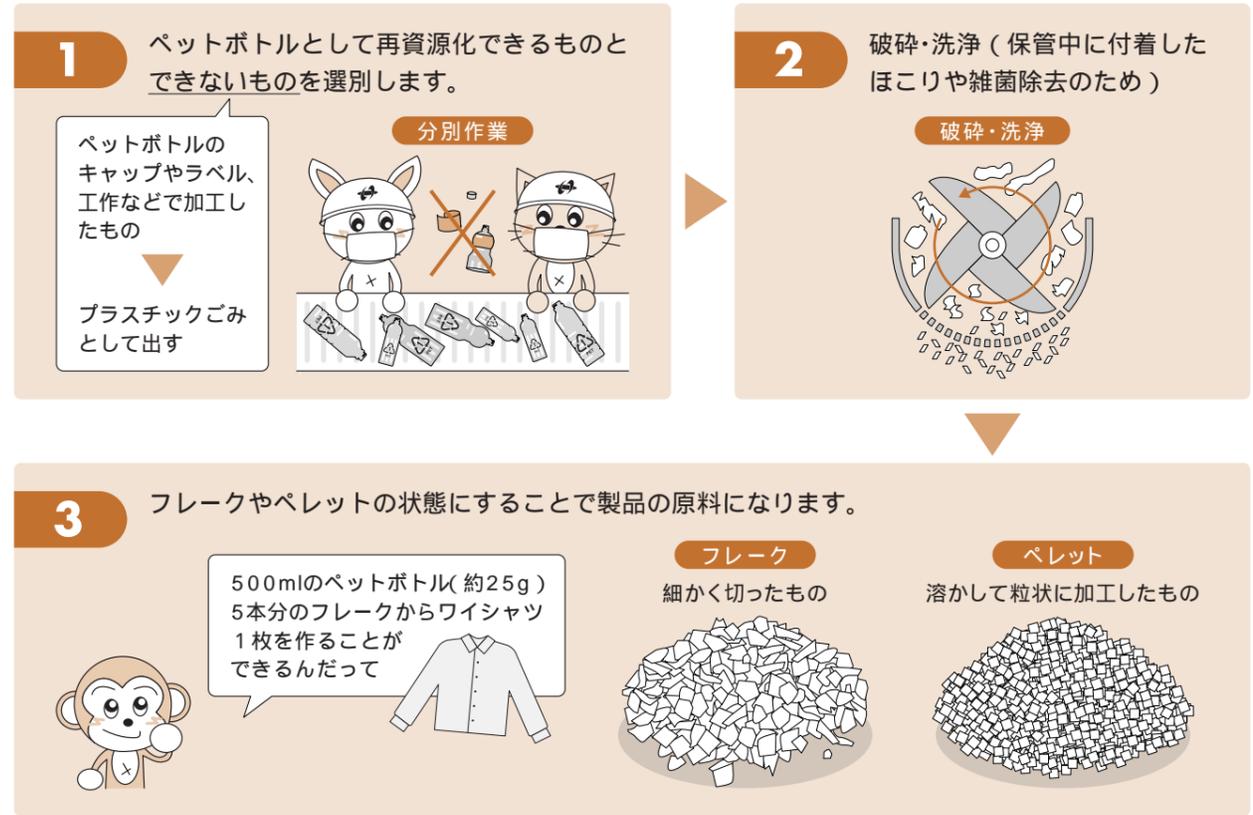
また、平成19年度の日本国内でのペットボトル回収率は、69.2%で、世界でも最高水準です。それだけ日本では、ペットボトルのリサイクルが進んでいるといえます。

リサイクルの方法

ペットボトルは、材質が均一で資源として利用しやすいため、主にマテリアルリサイクル（溶かして新しくプラスチック製品をつくる方法）で、多くのリサイクル製品が作られています。

最近では、ケミカルリサイクル（化学的に分解して原料に戻す方法）で、もう一度ペットボトルを作る「ボトル to ボトル」の取り組みも広がっています。

再資源化されるまで



このような製品に生まれ変わります

ペットボトルのリサイクル製品には、右のマークが付いています。シャツなどの衣類から、毛布、カーペット、バッグ、ボールペンやクリアファイルなどの文房具、商品の包装パック、洗剤のボトルなどがあります。



ルールを守って正しく出しましょう

- ・PETのマークの付いたボトルの形をしたものを出してください。
- ・ボトルの形以外のものは、「プラスチックごみ」として出してください。
- ・必ず、水洗いしてから出してください。
- ・キャップやラベルは、取り外して「プラスチックごみ」として出してください。



現場の声

ペットボトルは、材質と形が一定なので、分別もきちんとできているみたいですね。

そうですね。プラスチックごみに比べると作業もしやすいです。
みなさんが、ルールを守って、キャップやラベルもきちんと取ってくれているからありがたいね。



問北勢庁舎 生活環境課 T 72-3946 F 72-3748